

為替変動の影響に関する調査

(令和8年8月調査)

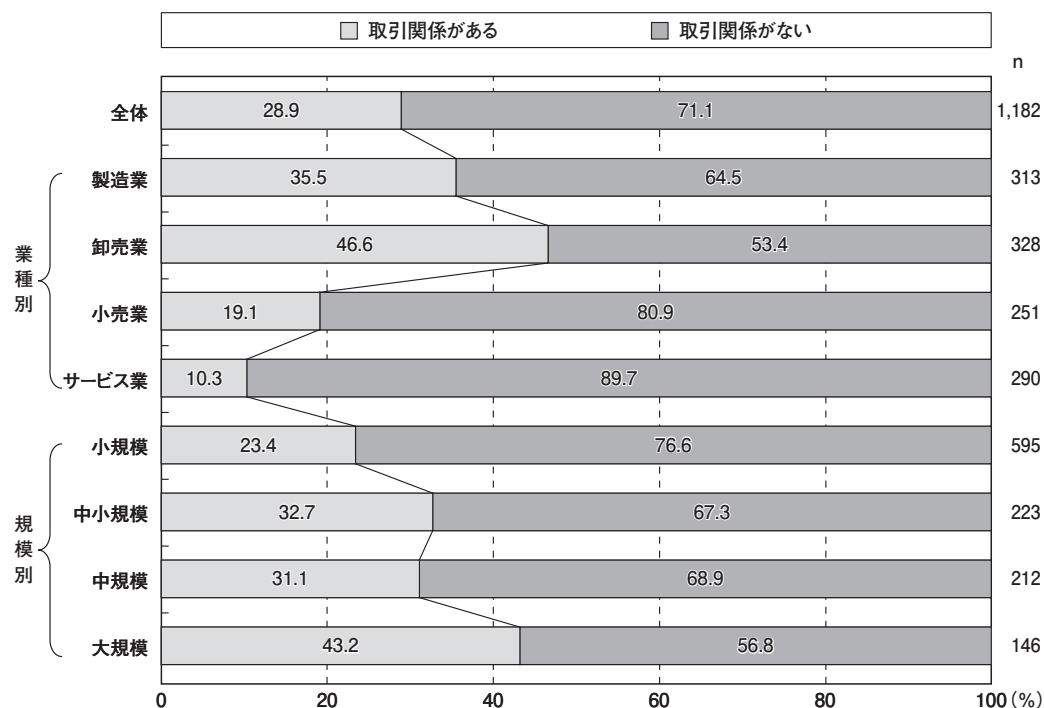
1. 海外との取引関係の有無

海外と何らかの取引関係があるかについては、「取引関係がある」と回答した企業が28.9%となった。約7割の企業は、海外との「取引関係がない」と回答した。

業種別にみると、他の業種に比べて卸売業は「取引関係がある」が46.6%と高い。一方、小売業とサービス業は「取引関係がある」がともに1割台にとどまった。

規模別にみると、他の規模に比べて小規模は「取引関係がない」が76.6%と高く、大規模は「取引関係がある」が43.2%と高い。

図表1 海外との取引関係の有無



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。

2. 海外との取引関係の内容

海外との取引関係があると回答した企業の取引内容(複数回答)は、「輸入」が61.8%と最も高く、「輸出(商社経由を含む)」(以下「輸出」という。)が31.5%、「顧客が輸出」が18.8%の順で続いた。

業種別にみると、卸売業と小売業は第1位が「輸入」となり、ともに7割を超える。他の業種に比べて製造業は「輸出」の51.4%と「顧客が輸出」の31.5%が高い。

規模別にみると、全ての規模で第1位が「輸入」、第2位が「輸出」、第3位が「顧客が輸出」となった。規模が大きくなるほど「輸出」、「業務提携」が高くなり、大規模は「輸出」が47.6%、「業務提携」が11.1%となった。

図表2 海外との取引関係の内容

		(%)					
区分	順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
業種別	全体	輸入 61.8	輸出 31.5	顧客が輸出 18.8	業務提携 7.1	その他 6.2	現地拠点 5.3
	製造業	輸出 51.4	輸入 45.9	顧客が輸出 31.5	業務提携 7.2	現地拠点 6.3	その他 4.5
	卸売業	輸入 76.3	輸出 26.3	顧客が輸出 14.5	現地拠点 5.9	業務提携 3.9	その他 0.7
	小売業	輸入 76.6	輸出 17.0	顧客が輸出 8.5	その他 2.1	業務提携 0.0	現地拠点 0.0
	サービス業	その他 36.7	業務提携 30.0	輸入 23.3	顧客が輸出 10.0	輸出 6.7	現地拠点 0.0
	小規模	輸入 57.7	輸出 21.9	顧客が輸出 15.3	その他 8.0	現地拠点 3.6	業務提携 0.0
規模別	中小規模	輸入 69.9	輸出 30.1	顧客が輸出 12.3	業務提携 6.8	現地拠点 5.5	その他 0.0
	中規模	輸入 65.2	輸出 37.9	顧客が輸出 24.2	業務提携 10.6	その他 1.5	現地拠点 0.0
	大規模	輸入 57.1	輸出 47.6	顧客が輸出 28.6	現地拠点 14.3	業務提携 11.1	その他 7.9
	大規模	輸入 57.1	輸出 47.6	顧客が輸出 28.6	現地拠点 14.3	業務提携 11.1	その他 7.9

注) 「輸出」は商社経由を含む。海外との取引関係の有無(図表1)で「取引関係がある」とした企業のうち無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。複数回答。

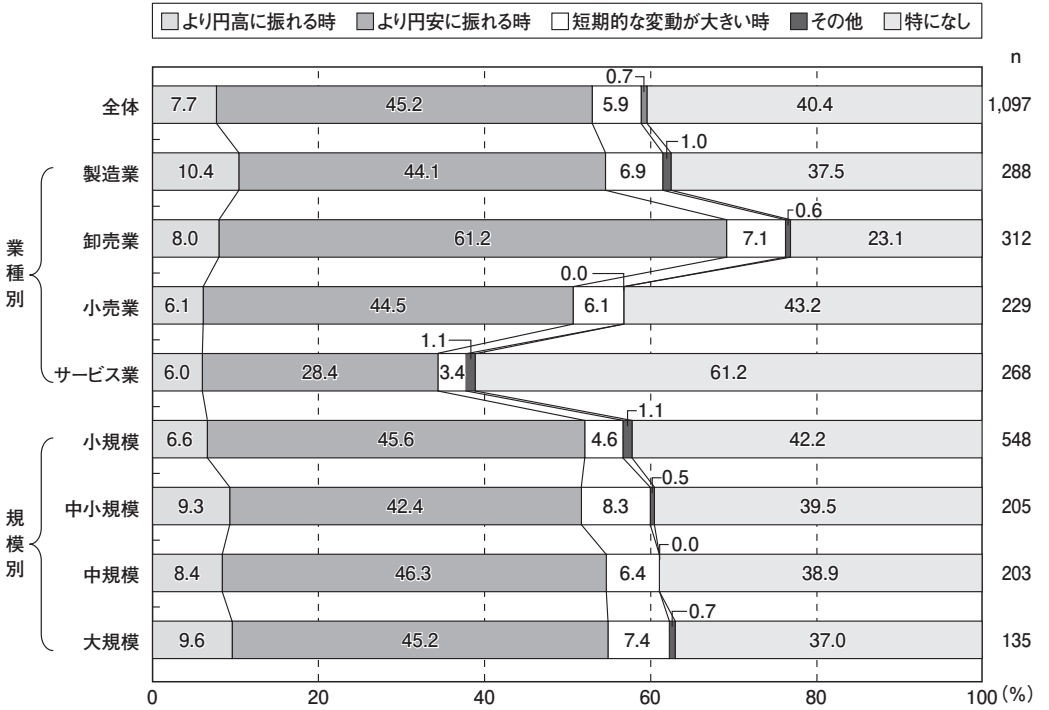
3. 為替変動による収益悪化の影響

為替変動により最も収益が悪化するのは、「より円安に振れる時」（以下「円安」という。）が45.2%と最も高く、「より円高に振れる時」（以下「円高」という。）が7.7%、「短期的な変動が大きい時」が5.9%の順で続いた。なお、「特になし」が40.4%となった。

業種別にみると、全ての業種で「円安」が「円高」を大きく上回った。卸売業は「円安」が61.2%となった。

規模別にみると、他の規模に比べて大規模は「円高」が9.6%と高い。

図表3 為替変動による収益悪化の影響



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため、合計が100%にならない場合がある。

4. 為替変動の影響を受ける通貨

海外との取引関係があると回答した企業の為替変動の影響を受ける通貨（複数回答）は、「米ドル」が74.8%と最も高く、「ユーロ」が23.8%、「中国元」が12.9%の順で続いた。

業種別にみると、全ての業種で第1位が「米ドル」、第2位が「ユーロ」となり、製造業と卸売業は第3位が「中国元」となった。

規模別にみると、全ての規模で第1位が「米ドル」となった。規模が大きくなるほど「中国元」、「韓国ウォン」が高くなり、大規模は「中国元」が22.2%、「韓国ウォン」が3.2%となった。

図表4 為替変動の影響を受ける通貨

							(%)	
順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位		n
区分								
業種別	全体	米ドル 74.8	ユーロ 23.8	中国元 12.9	特になし 10.0	その他通貨 7.6	韓国ウォン 2.3	341
	製造業	米ドル 80.9	ユーロ 19.1	中国元 14.5	特になし	その他通貨 5.5	韓国ウォン 1.8	110
	卸売業	米ドル 77.1	ユーロ 19.6	中国元 13.7	特になし 5.9	その他通貨 5.2	韓国ウォン 1.3	153
	小売業	米ドル 62.5	ユーロ 47.9	その他通貨 18.8	中国元 6.3	特になし	韓国ウォン 2.1	48
	サービス業	米ドル 60.0	ユーロ 23.3	特になし 20.0	中国元 13.3	韓国ウォン 10.0	その他通貨	30
	小規模	米ドル 71.9	ユーロ 21.6	特になし 12.2	中国元 8.6	その他通貨 6.5	韓国ウォン 1.4	139
規模別	中小規模	米ドル 76.4	ユーロ 19.4	中国元 12.5	その他通貨 5.6	特になし	韓国ウォン 2.8	72
	中規模	米ドル 75.8	ユーロ 34.8	中国元 13.6	その他通貨 7.6	特になし 6.1	韓国ウォン 3.0	66
	大規模	米ドル 79.4	中国元 22.2	ユーロ 20.6	特になし 14.3	その他通貨 4.8	韓国ウォン 3.2	63

注) 海外との取引関係の有無（図表1）で「取引関係がある」とした企業のうち無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。複数回答。

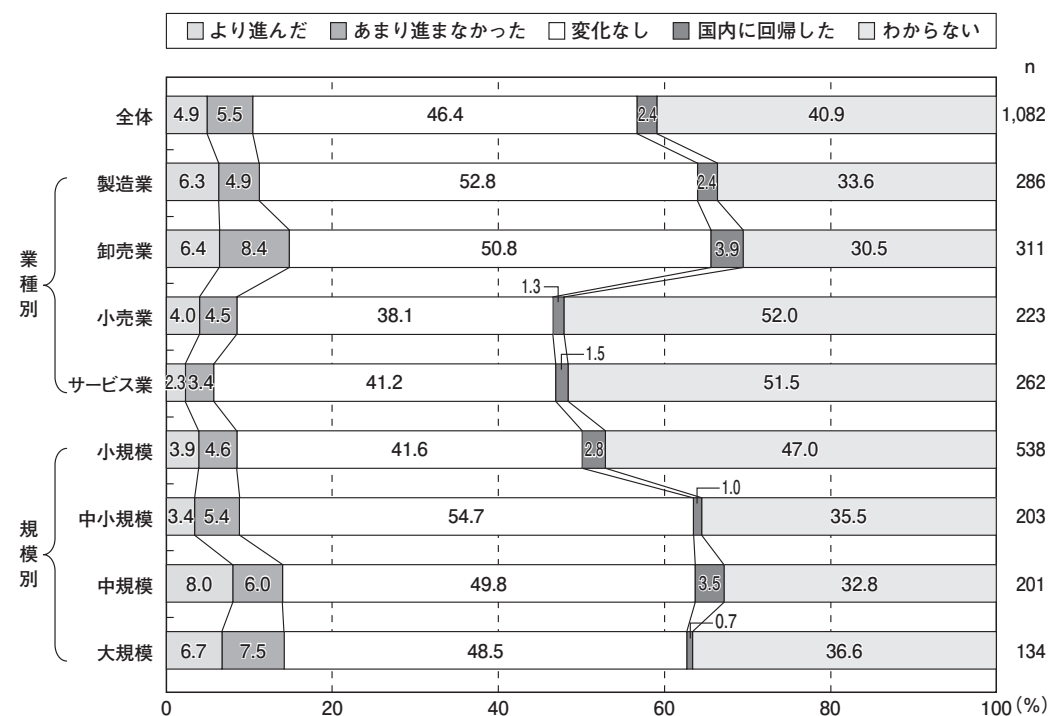
5. 取引先の海外展開・生産移転の状況

1年前と比較した取引先（顧客や仕入先）の海外展開や生産移転の状況は、「変化なし」が46.4%と最も高く、「わからない」が40.9%、「あまり進まなかった」が5.5%の順で続いた。

業種別にみると、製造業と卸売業は「わからない」がともに3割台にとどまり、取引先の海外展開・生産移転の状況を把握している企業の割合が高い。他の業種に比べて卸売業の「国内に回帰した」は3.9%と高い。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「あまり進まなかった」が高くなり、大規模は7.5%となった。

図表5 取引先の海外展開・生産移転の状況



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため、合計が100%にならない場合がある。